



全員参加 : 協力、公平、分担
 不偏不党 : 主義、思想、脱却
 ユニーク : 科学、論理、時重
 部会審議中心 : 自主的、民主的
 認識、勉強 : 自覚、努力、衆知

西山南部ルート計画撤回!
 排ガス騒音振動公害反対!
 環境破壊・反緑化政策追放!
 非機能・非常識路線再考!
 都市交通百年の大計樹立!

公団がガス拡散実験申し入れ 「待つた、飛辺市試先頭に5条件

— 13日に説明会、14日から実験? —

名古屋高速道路公団は、東山公園線緑橋付近の排気筒建設予定地で、2月27日～3月1日の三日間、ガス拡散実験を行いたいと、早川会長あて申し入れた。しかし、会では①試会決定のないルート(現在、留保中)での調査はなぜか②窓口の計画局をさしおき、工事担当の公団が前面に出てきたのはなぜか③目的、内容、方法の十分な説明がない(会では、すでに一年半を調査中)④調査には住民も立ち合 — などを主張、とくに、公団申し入れが、検討期間をないだし抜けのことだったため、飛辺アキラ市試のお骨折りを得て、調査の延期と、以下の項の確認、約束をとりつけた。

1. 会としては、東山公園～西山ルートを認めない。
1. ガス拡散調査は、住民側に資料を提供して説明するまで一時中止すること。
1. 調査および実験の場合でも、その結果については、公平かつ正確な資料を会に提供し、説明すること。
1. 今後とも交渉の窓口は計画局とし、公団関係の問題には計画局が立ち合う。ただし、実際の技術的な点については、公団と会研究部が話し合ふこととする。
1. 調査、実験には会員も立ち合う。

いかにせよ、住民感情を逆なごおは仕打ちですが、それだけ、市側の計画決定のための準備が急ピッチである証拠です。皆さん、より細心の注意と活発な運動、積極的な参加をお願いします。

おし、研究部への市・公団の説明会は3月13日(月)午後7時(西山消防詰所)の予定。拡散実験は、3月14、15、16日に行いたいと、当局は申し出ています。

しかし、留保中(計画未決定)ルートですので、調査は? かも3日間だけでは? 疑問の多い申し入れです。

地公審会長 富田先生(ババヤ)と懇談

会では、2月25日、名東区の地域公害審議会会長で代万町在住の富田先生(名大名誉教授)から、親しくお話をうかがいました。加藤光治委員長のご進言によるものです。

先生は、名古屋基本計画の実施にあつた7の公害対策に關し名東区地公審の答申に「環2および高速道路建設では、住民の意見の十分な尊重と慎重な対応」を盛り込んである。また、今後、市公害対策局、計画局、中央公害対策審議会、おび課の公害局、環境庁などへの働きかけも必要。研究部の風評実験は高く評価する。公害問題は協力だ。

— など、心強いお話しぶりでした。

「広域被害とは知らなかった!」 西山、植田山への広報に大反響 今後、毎月お配りします

会では、2月上旬、西山地区を中心に、5000部の広域特別広報紙を配布、皆さんのご理解を呼びかけました。さつやく、大きな反響をいただき(日刊新聞も報道)。心強く存続と同時に、役員会で、つぎのことを計画、決定して、鋭い事態に対処する決意を固めておきます。

- ◎ 広報紙の毎月発行(従来の「藤巻州」を改題)
- ◎ 請願・陳情の活発化
- ◎ 地区役職者・有識者・住民との懇話・接触
- ◎ 講演会・勉強会の鋭意開催

反響の主なものは①排ガスの広域拡散や被害・影響に、無関心、無知だった。②全地域の向題として認識せねば、教育、健康、生活への影響が大きい。詳しく知りたい。③協力する、組織拡大が必要。④影響があるといひきれない。役所は間違つたことをしなさい。⑤公害は防げたし、またあつても、だれかが犠牲にならねば。高速道路は便利。西山地区の一般交通量も減らす。⑥ガタガタいな — など。瑞穂中、天自己などからの激怒がカンパ、資料送付依頼、西山小、学校生によるパンフレットの利用も、あり、今後とも、ご理解、ご協力を得るため、そして、みんなて、よよ生活、よよあすの名古屋をつくらため、考え、話し、行動す打つてを痛感しています。

連絡先

南川 和子	782-1006
柘植 昭	781-8026
箱垣 馨治	781-1388
石原 高子	782-0643

会館室に7117: たいまは、50年近く以来、早川文夫先生、山田治夫先生を会長、委員長に、藤巻町自治会の90%が参加し、汚外部、研究部、調査部、連絡部、広報部、財務部の六組織で、会費月額500円、標記のモットーを掲げ、全員がなんらかの分担をし、運動を進めておきます。(裏面を必ず下す)

